

No.146 岡山県・美咲町（民生委員活動の継続化推進）

地域力創造アドバイザー	森本 登志男氏（A453）
活用分野	生活機能の維持
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1、2回程度）
キーワード	# 民生委員児童委員 # 活動の持続可能性 # DX推進 # 負担軽減 # 地域の担い手 # オンライン支援 # 早期発見・早期対応 # 見守り体制の強化 # なり手不足解消 # 伴走支援

【目的】

地域住民の相談役である民生委員・児童委員への期待は年々増している一方で、定年延長も進み、60代70代でも仕事を続けられる方がさらに増えていくことが予測され、仕事をしながらでも民生委員活動ができる環境づくりを推進するため、現任の民生委員の意見や実態を把握し、民生委員活動の「持続可能性」を検討・実施することで、地域活動への参加意識の向上、活動方法等の見直し、体制の強化、負担軽減、なり手不足の解消を図る。

【内容】

- アンケート等の実施による現状把握の支援・助言
- 業務効率化に対する拒否感の軽減に関する支援・助言
- 業務負担軽減のための検討会・部会の運営に関する支援・助言
- なり手不足解消施策に関する講演・支援・助言
- 専用アプリ等の導入に関する支援・助言、導入時のサポート

【成果（見込み）】

- 民生委員対象にアドバイザーによる講演会を開催、委員との対話も重ねて、出席委員のうち79%が美咲町の新たな取り組みに前向きな姿勢となる。
- 令和7年度一斉改選に向けた検討を開始し、検討チーム会議を4回、5部会で計20回開催し、新任委員が活動しやすい環境を作り出した。
- 専用アプリの導入に向け、事業者との調整、予算確保の支援、委員への説明等を実施、令和8年度導入に向けスタートを切る。



民生委員持続可能性検討会議